

アスファルト舗装に関する講習会を開催

愛知県アスファルト合材協会・(一社)道建協中部支部

愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(川端清太支部長)は7月10日、名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスで「平成25年度アスファルト舗装に関する講習会」を会員企業から132名の参加があり、4時間にわたりアスファルト舗装を取り巻く環境が変化している事に対応した最新技術の取得についての講習がありました。

開会挨拶では、難波陽一愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会担当理事が「新政権による経済対策で業界にようやく光が見えてきたが、技術者不足や高齢者問題など課題は山積している中で、舗装工事のプロとして安全と品質を当たり前にする必要があり、その技術を先輩方から継承していくには、使う材料から管理までをトータルで技術研鑽していかなければならない」との考えを示したうえ、「この講習会を通して一層の努力をお願いしたい」との挨拶がありました。

この後国土交通省中部地方整備局道路部特定道路工事対策官から「道路をめぐる最近の話題」をテーマに、本年3月に改正された「道路法などの一部改正法律案」や「総合評価落札方式の改正」・「交通ネットワーク整備」・「事前防災・減災対策」・「長寿命化への対応」などの説明がありました。

続いて(一社)日本道路建設業協会中部支部伊藤政夫企画調査課長から「アスファルト混合物事前審査制度」と題して導入状況や立入調査結果報告等が細かいデータを基に説明があり、その後休憩をはさみ、鹿島道路株式会社中部支店水野工事部担当部長から「アスファルト混合物試験及び現場試験について」、東亜道路工業株式会社中部支社杉浦裕之技術部長から「中温化舗装って何?」をテーマにそれぞれ説明があり、最後に質疑応答が行われ閉会挨拶を(一社)日本道路建設業協会中部支部環境委員会青野俊弘委員長が述べられ終了致しました。

